

塩化水素（毒性ガス 無色・刺激臭）

分子式	H C l	分子量	3 6 . 5	容器の色	ねずみ色
用 途	塩化ビニールなどの樹脂原料、化学工業・染色製造原料、陶磁原石の脱鉄等				
該当法規	毒物及び劇物取締法、消防法、労働安全衛生法、船舶安全法、航空法、港則法				
物理的性質	<p>毒性の無色・刺激臭のガス。</p> <p>比重：1.27</p> <p>沸点：-85</p> <p>許容濃度：5ppm</p>				
化学的性質	<p>完全に乾燥した塩化水素は比較的不活性ではあるが、水には容易に溶けて塩酸となり、多くの金属を常温又は高温において水素を発生して塩化物となり、アルカリ及びアルカリ金属は燃焼する。</p> <p>多くの有機化合物を溶解し、同時に脱水エステル化、二重結合への付加反応を起こす。</p> <p>乾燥状態では金属をほとんど腐食しないので、鋼を使用することができる。しかし、水には容易に溶けて塩酸となり、各種の金属をおかし、水素を発生するので湿気は絶対に避けなければならない。ガスを廃棄するときは、大量の水で処理する。</p> <p>漏えいガスの検知は、アンモニア水をひたした布を近づけると白煙が生じるのでわかる。</p>				
注意事項	<p>吸入すると、死亡する危険性がある。</p> <p>漏えいすると、材料を腐食させる危険性がある。</p> <p>皮膚、粘膜など触れると炎症を起こす。</p> <p>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p> <p>充てん容器は、40℃以下になるよう、直射日光を避け、通風の良いところで、転倒、破損が起こらないよう保管する。</p>				

塩化水素（毒性ガス 無色・刺激臭）

事故時の措置

消火方法	粉末消火剤、散水 一般の泡消火剤	処理剤	苛性ソーダ
漏えいした とき	<p>危険でなければ漏れを止める。 可能ならば、漏洩している容器を回転させ、液体ではなく気体が放出するようにする。 蒸発抑え、蒸気の拡散を防ぐため容器への散水を行う。 漏えい物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに全ての方向に適切な距離を漏えい区域として隔離し、関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 漏えいしても火災が発生していない場合は、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。ガスが拡散するまでその区域を立入禁止とする。 風上に留まる。低地から離れる。 119番（消防署）に通報する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での 火災のとき	<p>粉末消火器で消火するとともに、大量の水で容器を冷却する。 周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。 容器内に水を入れてはいけない。 火災によって塩素ガスを発生すること恐れがある。</p>		
救急処置	<p>吸引した場合は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動する。呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。直ちに医師の手当てを受けること。皮膚を速やかに洗浄すること。 飲み込んだ場合は、口をすすぐこと。無理に吐かせず、直ちに医師に連絡すること。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>皮膚や粘膜をおかす作用があり、接触すると薬傷する。吸引すると肺水腫になる。被爆は命に関わる恐れがある。</p>		
緊急通報例 119 (消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で 2 なにが 「毒性の塩素ガス」が 3 どうした 「漏れています。」 「消防車出動をお願いします。」 4 時間は 時 分 頃 です。 5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」 6 私の名前は 工場 課の です。</p>		